

大智寺だより

平成 22 年 卯 月

発行所

大智寺

岐阜市山県北野

668-1

電話: 058-229-1532

Mail: hybsr245

@ybb.ne.jp

ホームページ

大智寺検索

www.geocities.jp/daiti

toukai

当紙発行にはピーク・ア・ブー様の
ご支援を頂きました。
一服するならピーク・ア・ブー

いよいよ始まる 観音様のご開帳

美濃西国三十三観音霊場 総ご開帳

期間 4月4日(日)～18日(日)の2週間

「三十三観音」というと、西国のお遍路姿を思い浮かべますが、この岐阜にも三十三の霊場があります。

そもそもなぜ「三十三」なのでしょう。みなさんが法要に参列されると、ご焼香中に長いお経をお聞きになると思います。その長いお経を「観音経」と言います。お経の大意は、観音様がご自分の姿を三十三の身に変化させて、その人その人に適したお姿となり、より多くの人々をお救いくださるというものです。つまり「三十三観音」とは、このお経では「ありとあらゆる姿になった観音様」と捉えることわかりやすいと思います。

大智寺は、この美濃西国三十三観音霊場の札所となっております。期間中のみ十一面観音様をご開帳いたします。私たちは生きていく中で「あの人がいだからこそ、今の自分がある」と思える人に多々出会います。それはもしかしたら、私たちをお救いくださるためにお姿を変えた三十三観音様かもしれません。三十三観音様はいつも私たちのそばで見守ってくれています。

観音様記念のぼりのご奉納 ありがとうございます。

山口和美 九野容治 山口すての 笠井健二 近松義隆 林ゆき枝 九野和美 山口憲男
九野一恵 笠井克紀 林亨 吉田武雄 村井功 林眞太郎 村井勝美 笠井岩夫
3月中上記の方々からご奉納を賜りました。ありがとうございました

支考忌

3月28日は支考忌でした。各務支考のご命日は2月7日ですが、大体3月の終わりに支考忌は催されます。当日は支考の俳諧結社「獅子門」の方々が大智寺に集い、連句の興行である正式俳諧が披露されました。

今年は、私も地域の方々に紛れて見学をしてみました。俳句になじみの薄い私ですが、次々に吟じられる俳句に対する大野鶴土宗匠の評価・説明はなかなか聞き応えのあるものでした。また、三輪北小学校で俳句指導をされる梅村五月先生からは「子ども達の語彙力が素晴しく、さすが支考ゆかりの地だと感心しています」とのお話を伺いました。

最後に、進行役の大山様から地域のみなさんへ伝言です。「土日どちらかに獅子庵の掃除をしているので、気軽にお寄り下さい、獅子庵の説明もしますよ。遊びに来て下さい(笑)」

今月のひびく

「若おくの」として若和尚さんとお寺を守り、早くも半年たった。先日若和尚が例のごとく「ひびく」とやってきて「ミンとかけて恥じらうと説く」と、ぼんろ。

「そのころは？」と聞くと「結婚とともに確かにあった、けど今はどこにいったかわからない」・・・(しばらく沈黙)

若和尚「大丈夫、大丈夫、捨てたわけじゃないから。どこかに大切にあってあるんだよ、きっと・・・」あるある、ちゃんとあるよ(笑)

広がる大智寺の輪

〜 一期一会 その瞬間 〜

むかしは お寺で餅まきして
屋台もたくさん出とったなァ

彼岸入りの3月18日、本堂ではお抹茶とお菓子を振舞いました。一日中お客様も絶えることなく、みなさんと楽しく過ごすことができました。

さてそんな中、お寺の昔話が話題になりました。昭和50年代頃、まだ里5号には公民館がなく、お寺で「ごちも会」をしていた頃のお話。『お寺の鐘付き堂からお餅をまく日があったのう。大ヒノキの周りには屋台がたくさん出て、駄菓子屋の「ぜんまっちゃ」や「とらサ」なんかがよくタイヤキを焼いてたもんだ。タイヤキだって今みたいな機械はないから、一匹一匹丁寧に焼いたもんだ。楽しかったもんだ。』店とら」という駄菓子屋は里4号の一休庵の場所にあつて、おやしさんの名前は「とらさん」だった『ちなみに住職によると当時「とら」と名の付く人がら人程いたそうです。「お寺に屋台が来ていたのか」と少々驚きましたが、ぜひ次世代にもずっと語り継いでいきたい楽しいお寺の昔話でした。

弘法堂のお掃除

ありがとうございました

3月15日に、弘法堂のお掃除がありました。今回は里5号の方々にお手伝いしていただき、きれいになりました。

弘法堂のお掃除は、みんなで作るかから早く終わるし、その後みんなでお茶をするのもまた楽しいものです。そんな中、今の住職の亡きお母さんの話になりました。私は生前のお姿を見ることはできませんでしたが、みなさんのお話を聞いていると、そのお姿が目につかぶようでした。乳母車にタケノコをたくさん入れて村のあちこちに配っている様子や、みんなで柴刈りをした後の五目飯がおいしかったことなどを聞くと、優しくみんなに慕われていたんだらうなと感じました。

最近孫の運動会やら発表会をビデオや写真で撮るそうですが、その孫が成人した時にどれだけ「おじいちゃん」「おばあちゃん」の顔や声を覚えていてほしいか。優しく感じたのはあるのに、思い出したくても もう会えませんが、聞こえませんが。どうぞ孫に伝えてください、「自分たちの生きざまを。」

獅子庵の声

こま鳥や
声あきらかに
花の中
支考

本堂前の大桜、
お墓の前の桜並木、
山いっぱい桜色。
どうぞお立ち寄り
ください。お待ちしております。

永代供養って何？

- ◆ 後継者がいない方
 - ◆ お墓の維持が困難な方
 - ◆ 両親の墓を建てたいが、嫁いなので難しい方
- …などなど、様々な理由でお墓の建立・維持が困難な方のために、ご用意しております。檀家外の希望者も受け付けております。
詳しくは、大智寺までお問合せください。

至急 ボランティアの大募集

4月4日～18日のご開帳期間、たくさんの方々が大智寺で巡礼にいらっしやいます。お寺ではいらっしやる方々に接待を致しますが、その際にお手伝いしていただける方を募ります。

日時 4月4日～18日の期間
(1日だけでも1時間だけでも可)

やる事 お菓子配り、お茶出しなど
お手伝いしていただける方は、恐れ入りますがお寺までご一報くださいませ。